

**Media Contact:**

金原真奈美

[pr-jp@blackmagicdesign.com](mailto:pr-jp@blackmagicdesign.com)

Tel: (03) 5465 2101

## Micro Cinema Cameraで、NBCの 「Better Late Than Never」 シーズン2を撮影

2018年2月16日 - Blackmagic Design はこの日、デイビッド・オートキーゼ (David Ortkiye) 撮影監督が、NBC の人気シリーズ、「Better Late Than Never」のシーズン2の車内シーンおよび外観ショットの撮影、モニタリングに、Micro Cinema Camera と Video Assist 4K モニター/レコーダーを使用したことを発表した。

同番組は、ヘンリー・ウィンクラー、ウィリアム・シャトナー、ジョージ・フォアマン、テリー・ブラッドショー、そしてコメディアンジェフ・ダイが世界を旅するリアリティ番組。ミュンヘン、ベルリン、リトアニア、スウェーデン、バルセロナ、マドリッド、モロッコへの、5人組のワイルドで楽しい旅が始まった。番組のテーマが旅であることから、オートキーゼ撮影監督は、持ち運びやマウントに適した小型のカメラで、なおかつシネマライクなルックを得られるカメラを探していた。

「Micro Cinema Camera を選択した理由はいくつかあります。」オートキーゼ撮影監督は語る。「車内の撮影に使用できることはもちろん、時速200キロ強のカーチェイスでもダイナミックに撮影できるカメラを探していました。また、シネマライクな画質が得られることも条件でしたが、Micro Cinema Camera は12-bit RAW cinema DNG で撮影でき、13ストップのダイナミックレンジにも対応しているので、理想的なカメラでした。また、レンズマウントの交換が可能で、使用したいレンズをフレキシブルに取り付けられるので、イメージの一貫性や画質を損なわずに、希望通りの画を撮影することができました。」

Micro Cinema Camera の12-bit RAW とダイナミックレンジは、様々なロケ地での撮影で威力を発揮した。「野原を抜けて森へとドライブしたり、トンネル内や橋の下を走ったりすることが多かったので、ルックをマッチさせるために、ダイナミックレンジとRAWコントロールが不可欠でした。」オートキーゼ撮影監督は続ける。「同番組は中南欧から北アフリカへと旅を進めて行くのですが、番組を通じて色も変遷を辿ります。それぞれの地形によって、カラーパレットのビジュアルは異なりますが、それらをロケーションやエピソードごとにまとめる必要があります。RAW で撮影することで、ディテールを保存して調整することができました。」

これと様に、ロケ地が変わると車の種類も変わる。オートキーゼ撮影監督と彼のチームは、タクシーからBMW i8まで、様々な種類の車の内外でMicro Cinema Camera のリグを組んだ。また、ゴーカートやラクダにカメラを取り付けたこともあった。

「BMW を運転するエピソードでは、BMW i8 とそれを追いかける車のフロントバンパーにMicro Cinema Camera をマウントし、時速約210キロで走るBMWを追って撮影しましたが、すばらしいフッテージが撮れました。」オートキーゼ撮影監督はさらに続ける。「モロッコでは、時速95キロで走るゴーカートの前後にMicro Cinema Camera を取り付けたのですが、サスペンションがないため不安定だったんです。しかし、カメラのリフレッシュレートが高かったことで、画像が安定しました。この時点でその他のスポーツ用のカメラは完全に選択から外れましたね。」

各ロケ現場では、タクシーにマウントしたカメラでBロールを撮影した。「すべての国で、タクシーの上から屋根のサインを見下ろす形の主観ショットを撮影したのですが、北アフリカだけは例外で、車の代わりにラク

ダに乗りました。」オートキーゼ撮影監督は付け加えた。「カメラマンの一人が Micro Cinema Camera を持ってこのタクシー（ラクダ）に乗り、カメラリグを組んで 45 分ほど"ドライブ"したんです。そういう意味では、非常に"速攻"の撮影でしたね。Micro Cinema Camera の利点は、大規模なリグが必要ないことです。このため、より効率的にクリエイティブな撮影が可能なんです。」

「この番組はコメディの要素を多分に含んでいるのですが、コメディの撮影では、その場の流れが重要なので、機材の設定などにこだわることはできませんね。」オートキーゼ撮影監督は続ける。「Micro Cinema Cameras のようなツールがあれば、とっさの思いつきで撮りたいと思ったコンテンツでもシームレスに番組に取り入れることができます。例えば、Micro Cinema Cameras を作り物の牛の頭に取り付けて、角の間から追跡ショットを即席で撮影したことがありました。」

「Micro Cinema Camerasのおかげで、信じられないようなシーンをいくつか撮影できました。番組にとって重要なアクションシーンなどです。レンズ交換が可能で、12-bit RAW で撮影できる Micro Cinema Cameras は、その他の小型アクションカメラより一歩抜きん出ています。Micro Cinema Camerasのおかげで、厳しい環境の撮影でも希望通りのフッテージが得られます。」オートキーゼ撮影監督は最後こう結んだ。

## フォト

Micro Cinema Camera、Video Assist 4K および他の Blackmagic Design 製品の写真はこちら [www.blackmagicdesign.com/jp/media/images/](http://www.blackmagicdesign.com/jp/media/images/)

## 会社概要

Blackmagic Design は、映画、ポストプロダクション、放送業界に向けて世界最先端のビデオ編集製品、デジタルフィルムカメラ、カラーコレクター、ビデオコンバーター、ビデオモニタリング、ルーター、ライブプロダクションスイッチャー、ディスクレコーダー、波形モニター、リアルタイム・フィルムスキャナーを開発している。Blackmagic Design の DeckLink キャプチャーカードは、その品質と価格で放送業界に革命をもたらした。また、エミー™ 賞を受賞した DaVinci カラーコレクションシステムは、1984 年以降、テレビ、映画業界の中心となっている。Blackmagic Design は、現在も 6G-SDI、12G-SDI 製品、ステレオスコピック 3D、Ultra HD ワークフローなどの独創的な革新を続けている。世界をリードするポストプロダクションエディターやエンジニアにより設立された Blackmagic Design は、現在アメリカ合衆国、イギリス、日本、シンガポール、そしてオーストラリアにオフィスを構えている。詳細は [www.blackmagicdesign.com/jp](http://www.blackmagicdesign.com/jp)